

## 令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 音楽 (一般)

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教出 (教育出版)	音楽・017-72 音楽・017-83 音楽・017-84
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○目標を達成するための学習活動の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱については、斉唱から混声合唱へ系統性や発展性を踏まえた学習が展開出来るよう精選している。第1学年では混声三部合唱、第2・3学年では混声四部合唱までについて歌詞や曲の構成の理解、豊かなハーモニーで歌う技能を身に付ける活動を行っている。</li> <li>・創作については、日本語の抑揚を生かした旋律づくり等を通して、言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫したり、言葉の反復や重ね方を生かしてまとまりのある音楽をつくる技能を身に付ける活動を行っている。</li> <li>・鑑賞については、第1学年では我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽について音階や構成などの特徴の理解と声による表現の仕方について考え、第2・3学年については、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、他の芸術と関係する音楽の役割や効果について考え、音楽のよさや美しさを味わう活動を行っている。</li> <li>・共通事項については、教科書冒頭で示された「学習の進め方」をもとに、第1学年は曲の特徴についてまとめたり、音楽を形づくる要素の働きに注目して、気がついたことや感じ取ったことを話し合ったりする活動、第2・3学年についてはテクスチュアの変化、舞台芸術の表現から特徴をまとめ、共通点や相違点について紹介したりする活動を行っている。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、曲の特徴のまとめ、ピアノ伴奏が変化する効果、ブレスの取り方の工夫など考えを深めたり、広げたりする活動を取り入れている。</li> </ul>	
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を通して我が国や郷土の伝統音楽を基盤として、音や音楽と生活や社会の関わり、それらにより音楽の特徴や多様性を取り扱う構成となっている。</li> <li>・歌唱・器楽・創作・鑑賞の各教材は「曲想と曲の特徴、全体の構成」が意識され、3年間の系統性・発展性を意識した構成となっている。</li> </ul> <p>○内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年～歌唱教材51ページ、創作教材5ページ、鑑賞教材20ページ、その他16ページ、総ページ数92 (我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数23、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数6)</li> <li>・2・3上～歌唱教材44ページ、創作教材4ページ、鑑賞教材23ページ、その他21ページ、総ページ数92 (我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数31、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数3)</li> <li>・2・3下～歌唱教材40ページ、創作教材4ページ、鑑賞教材17ページ、その他31ページ、総ページ数92 (我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数33、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数2)</li> </ul>	
使用上の 配慮等	<p>○ユニークな活動を展開するピアニストから、中学生に向けたメッセージや人と社会とのつながりを生み出す取組を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○アイコンやマークなどで、学習の見通しや活動例を示したり、楽曲のよさや魅力についてまとめるコーナーを掲載するなど、主体的に学習に取り組むことが出来るような工夫がなされており、大変よくできている。</p> <p>○ユニバーサルフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、まなびリンク (二次元コード) を掲載するなど使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

## 令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 音楽(一般)

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教芸(教育芸術社)	音楽・027-72 音楽・027-83 音楽・027-84
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○目標を達成するための学習活動の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱については、斉唱から混声合唱へ系統性や発展性を踏まえた学習が出来るよう精選している。第1学年では混声三部合唱、第2・3学年では混声四部合唱までについて音色や強弱、曲想の変化やパートの重なりを生かして歌う技能を身に付ける活動を行っている。</li> <li>・創作については、和音の動きに合わせた音のつながり方、構成を工夫して音楽をつくる技能を身に付ける活動、リズムの重なり方による特徴、和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくる技能など、段階に応じて身に付けられる活動を行っている。</li> <li>・鑑賞については、第1学年では我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽について映像の中で音楽が果たす役割や音楽の特徴と情景や心情について考え、第2・3学年については、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声による表現の特徴や表題や解説から音楽のよさや美しさを味わったりする活動を行っている。</li> <li>・共通事項については、1年間の学びを俯瞰できる「学びの地図」をもとに、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえた学習、表現を工夫したりする活動、伝統音楽を聞き比べて特徴をまとめる活動を行う。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、演奏を聴いて確認したりしたことをまとめる活動、音色や速度・リズムの変化を感じ取り、表現を工夫して謡ったりする活動を取り入れている。</li> </ul>	
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○内容の構成・排列について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年については、リズムについて、第2・3学年については、我が国や郷土の伝統音楽を基盤として、音や音楽と生活や社会の関わり、それらにより音楽の特徴や多様性を取り扱う構成となっている。</li> </ul> <p>○内容の分量について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年～歌唱教材48ページ、創作教材5ページ、鑑賞教材25ページ、その他20ページ、総ページ数98(我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数27、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数9)</li> <li>・2・3上～歌唱教材44ページ、創作教材5ページ、鑑賞教材21ページ、その他28ページ、総ページ数98(我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数32、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数2)</li> <li>・2・3下～歌唱教材44ページ、創作教材4ページ、鑑賞教材23ページ、その他27ページ、総ページ数98(我が国や郷土の伝統音楽を取り扱うページ数32、北海道と関わりのある内容を取り上げているページ数2)</li> </ul>	
使用上の 配慮等	<p>○各界で活躍する方の中学生に向けたメッセージや、様々な角度から音楽を捉え、より幅広い価値観をもてるよう、学習意欲を高める工夫がされている。</p> <p>○どのような曲なのかを簡潔に示す楽曲の紹介文を示したり、「問いかけ」による考えたいポイントを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるようになっている。</p> <p>○ユニバーサルフォントを使用したり、色覚特性への配慮をしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	